

千葉大学医学部附属病院の脳卒中集中治療室で行われた 勉強会でのアンケートに回答された 看護スタッフの皆様へ

2026年1月8日
看護部脳卒中集中治療室

脳卒中ユニット病棟では、嚥下スクリーニング運用に関する研究を行っており、以下に示す方に回答して頂いた勉強会後のアンケートを、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究にアンケートを利用して欲しくない方は、末尾の連絡先にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2024年5月15日～2024年5月30日の間に嚥下スクリーニングシートの勉強会に参加し、アンケートに回答された方

1. 研究課題名

「脳卒中ユニットにおける嚥下スクリーニング導入初期の課題
—看護師アンケート結果に基づく分析—」

2. 研究期間

2026年承認日～2026年12月31日

この研究は、観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

脳卒中の急性期には、食べ物や飲み物をうまく飲み込めなくなる「嚥下障害」が多くみられ、肺炎や栄養不足の原因となり、回復や入院期間に大きく影響します。そのため、入院早期から嚥下機能を確認する「嚥下スクリーニング」が重要とされています。

本研究では、勉強会後に導入した嚥下スクリーニングについて、看護師へのアンケートを通して、実際の使われ方や困りごとを明らかにし、安全で統一された評価が行える体制づくりに役立てることを目的としました。

調査は、脳卒中ケアを行う病棟の看護師を対象に、導入1か月後に無記名勉強会后アンケートを実施し、数値データと自由記述の両面から分析します。

本研究は無記名のアンケートを使用するため、個人は識別されず、またアンケートは外部には提供されません。

4. 研究に用いる情報の種類

勉強会後に実施したアンケートの結果

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：脳卒中集中治療室 看護師長 石井由美

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は無記名でのアンケートのため、どなたのものかわからない状態であり、千葉大学医学部附属病院脳卒中集中治療室において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定される事はありません。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、脳卒中集中治療室看護師長石井由美までご連絡ください。

7. 研究に関する相談窓口について

本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

脳卒中集中治療室 看護師長 石井由美

043（222）7171 内線6537